

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことからです。

📖の数字は、教科書のページ数です。

2年 「えいっ」

 17~33

- 町に買い物に出た、くまの親子のお話です。父さんぐまが「えいっ。」と言ってしたくと、子ぐまの気持ちを、順に押さえていきます。
- 1 町の信号で、父さんぐまがしたこと
は？
 - 2 夕暮れの帰り道、父さんぐまが空に出したものは？
 - 3 切符の自動販売機で、父さんぐまがボタンを押したら…。
- 「えいっ。」のからくり
に気づいた子ぐまは、
最後に一番好きな人を出します。
- 



1 年 なかよしの き～あいうえお 0～23

- 絵を見て気づいたこと・想像したことを伝え合い、「話す・聞く」の勉強をします。
 - 自分の名前を書く練習をします。
- 自己紹介を通して、言葉による伝え合い

●「あいうえお」の文を、発音に気をつけて
読んだり、「あいうえお」を、書き順に注
意して書いたりします。

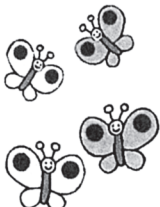
字を書くときは、ていねいに
ていねいという気持ちを
もたせることが大事だワン。

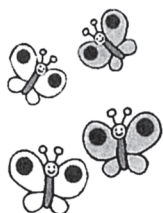


4年 白いぼうし

 13~27

- タクシーの運転手の松井さんが見つけた白い帽子にまつわる物語です。
- 場面の様子や人物の気持ちを読み取ります。

- ・ 松井さんが、道に白い帽子が落ちてい
るのを見つけた。
- ・ 帽子をつまみ上げると、白い蝶が逃げ
出した。
- ・ 蝶の代わりに夏みかんを入れた。
- ・ 車の中に女の子が座っていた。
- ・ 女の子がいなく
なってしまう、
蝶がたくさん飛
んでいた。
- 



3年 白い花びら

 13~31

- かずきと行った探検で、ゆうたが不思議な女の子に出会う物語です。
- 場面ごとの出来事や、登場人物の心情をとらえます。

1週間後	日曜日	場面2	場面1
再び探検に出かけたかずきとゆうたは、花びらを風に散らす一本の桜の木を見つける。	一人で林に向かったゆうたは、岩の上に座る少女と出会った。	かずきとゆうたは、細長い岩に乗って遊んだ。	かずきを追ったゆうたは、林に向かつて話しかける少女を見た。

6年 あのを坂をのぼれば

 13~17

- 坂をのぼり山を越えて、一心に海をめざす少年の物語です。
- 場面ごとの少年の心の動きを想像して、読んでいきます。

- ・いつからどれだけ歩いているのだろう
- ・どうして海をめざしているのだろう。
- ・疲れ切って止まってしまった少年に、ふたたび歩き出す力を与えたものは何だったのだろう。

疲れて
苦しくても、
海が見たかったんだね。



5年 | いつか、大切なところ 13~31

- 転校を経験し、前の学校と今の学校の間で揺れ動く亮太の、成長の物語です。
- 心情を表す表現に気をつけて、亮太の気持ちの変化を読み取ります。

- ・ 前の学校の友達に会いに行く場面
- ・ 前の学校や友達の家で過ごす場面
- ・ 今いる場所に帰っていく場面
- ・ 今の学校の女の子に声をかけられて会話する場面
- ・ 偶然会ったお母さんと帰る場面

この後、今の世
お話がどう続
考えてみよう。

